

夢創造

～自立・共生をめざして～

1月10日(水)

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

「順位がつかないこと」に努力できる姿勢

校長 市岡早苗

(3学期始業式の話より)

お正月、お年玉をもらえて嬉しかったように、お金がかかっていると思うといつも以上に頑張れることはたくさんありますよね。他にも順位や合格・不合格、勝ち負けがかかると燃えることができたりします。私もそのタイプの1人です。

でも、ふと皆さんの2学期までの学校生活を考えた時、こういうものが無いのに光る姿がとてたくさんあるなあと気付きました。たとえば1年生の授業、2年生の福寿園やこども園でのふれあい、3年生の合唱など。これらの「順位がつかないことに努力ができる」のは、とても価値が高いと思います。

1位になることや勝つことももちろん、素晴らしい事のひとつです。でも、勝ったから価値があるのか、負けたから人としてダメなのか、と言われたら絶対にそれはありません。そこまで何を思い、何をしてきたかという取り組みの姿に、その人の価値は絶対にあります。だから先ほど挙げたように、自分や学級・学校の思いを大切にしていけるあなたたちの姿は、まさに価値の高い姿でした。

3学期は「レベル上げの時期」。今までに身につけた力をもとに、大きな成長をやり遂げる最高の期間。今の学年で大切にしている力をしっかり身につけて初めて、次の学年に入るチャレンジができる。そんな風に成長しようとするあなたたちを、先生たちは応援していきます。

冬休みとお別れし、心のスイッチを切り替えて3学期に突入しましょう。



↑「楽しさを自分たちで作る」全校レク

↓「心を配る」年末の弁当包み手紙作成



私たちにできることは…

元旦から大災害が日本を襲いました。一番ゆっくりし、一番楽しい気分のお正月だけれどその気持ちに浸りきれず、心が痛んだ方もいらっしゃるのではないのでしょうか。生徒も頷いて聞いていました。

そう感じるのは、被災された方々の辛く悲しい気持ちを想像したり、自分だったら…とその状態に身を置いて考えたりする心があるからであり、人としてとても大切な姿だと思います。

ある避難所でインタビューをうけた小学生が「今、何がしたい？」と聞かれ、答えた言葉は「学校で勉強がしたい」でした。もちろん『友達と一緒に』という意味も込められていたかと思います。でも、これを聞いたとき、今日のように当たり前前に学校に集まり、温かい場所で集会や授業をしたり、仲間と話したり、給食をいただいたり、水洗トイレを使ったりすることができるのは、本当に幸せなことなのだと改めて感じました。

だからこそ、私たちは今できる活動を生徒とともに精一杯やりたいし、私たちにできることはないだろうか？と考えていきたいと思います。

